

# クッカー きほんのき

## (形と大きさ)

クッカーの形状はバラエティ豊か。  
用途に合ったものを選べば調理の効率は上がる。



1～2人分のお湯を沸かすのに適している。直接火にかけられるが、取っ手が熱くなることがあるのでご注意。

### マグ

- エバニュー/Ti マグポット 500 4200円 ㊤ エバニュー



## (アルミとチタン)

古くから利用されるアルミと、急成長のチタン。クッカーを知ることは、料理上手への第一歩だ。

### アルミ



- エバニュー/チロルコッヘルS 4095円 ㊤エバニュー

現在使用されているクッカーの大半はアルミ製。熱伝導率が高いので、焦げつきにくいのが特徴。チタンに比べるとやや重い、チタンより安価で手に入る。

### 浅型



- エバニュー/チタンクッカーセット Sセラミック 9975円 ㊤エバニュー

炒め物や汁物はもちろん、ご飯を炊くのにでも対応する万能選手。これがふたつほどあれば、大抵の調理は事足りるだろう。

### チタン



近年、注目を浴びている素材。アルミより軽いの  
がメリット。ただし熱伝導率が低い  
ため、焦げつくことがある。また、アルミ製に比べて高価。

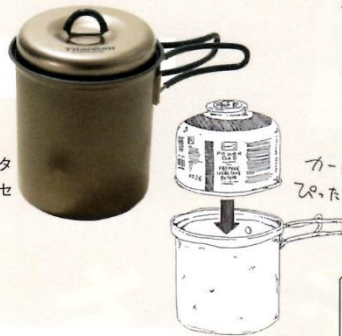


- エバニュー/Tiウルトラライトクッカー-S 8190円 ㊤エバニュー

### 深型

パスタを茹でるときや、スープなどを多めに作る時に便利。中にガスカートリッジを収納できるものもある。

- エバニュー/チタンクッカー-2セラミック 5250円 ㊤エバニュー



「カートリッジ」  
「2人分用」  
「600ml」

### ハンドル一体型



- プリムス/ライトクトレックケトル&パン 2730円 イワタニ・プリムス

クッカーと折りたためるハンドルが一体になったもの。ハンドルをつけたり取り外す手間がなく、使いやすい。

### ハンドル分離型

独立したハンドルでクッカーをつまめるタイプ。ひとつのハンドルで複数のクッカーに対応できるので、軽量化になる。



- トランギア/ツンドラ3 6510円 ㊤イワタニ・プリムス

### 大人数クッカー

仲間同士でひとつの鍋を囲みたい。そんなとき、大中のクッカーと小皿や容器がセットになった大人数用クッカーが重宝する。共同装備として持っていけば、パーティ全体の荷物は軽くなる。



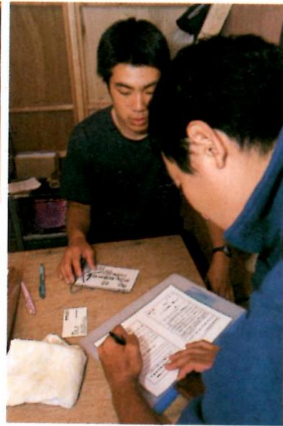
- FLEX3システム/MSR 1万6800円 ㊤モチツキ

テントの基本がわかる本  
\*\*\*\*\*  
Tent  
How to

## テント泊の受付



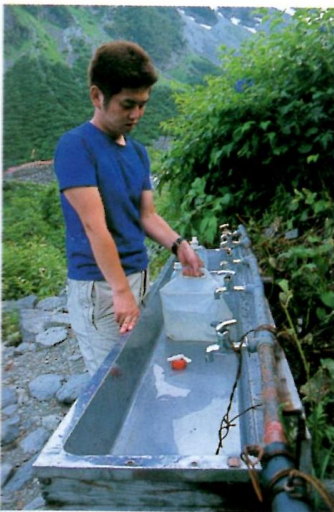
申込用紙に必要事項を記入し、幕営料を支払う。テントを張る場所の指定を受けて許可札などをもらうことが多い



## トイレと水場



テント泊用のトイレを小屋とは別に設けているところもある。トイレ処理のために、使用後のペーパーは箱や袋に分けて捨てることが多い



施設の整ったテント場では、専用の炊事場が設けられていることもある。水場は最も大切な施設だ。汚さないように使おう

## テントを張る場所



テントはできるだけ快適な場所に張りたい。絶対的条件としては、平らであること、落石や増水の心配がないこと、植物などを傷つけない場所だ。また、風ができるだけ避けられ、湿気のないところがベスト。人通りも少ないほうがうれしい

## 受付と場所決め

テント場に着いたら、まず管理施設に向き(山小屋が代行していることも多い)、幕営の申し込みをして幕営料金を納める。その際に番号札などを出すところもあり、張ったテントの見えやすい場所につける。先方から説明してくれることが多いが、必ずトイレの場所と、水場の状況を確認するようにしよう。

テント適地の絶対条件は、できるだけ平坦な場所であること、落石や増水の危険のない場所だ。また、テントの下に高山植物がある場所も避けよう。そのうえで、できるだけ風当たりの少ない場所、下からの湿気や泥のないところがうれしい。また、人気の山域では、人通りの少ないところを選びたい。贅沢をいえば、テントの入口から朝晩のきれいな山が見えるところが最高だ。

以上は自分で場所を決められる場合だが、人気山域のテント場では、テントの大きさや人数に合わせてテントそのものを張る場所を指定されて、ナンバーなどを記した場所以外に張ることは許されない場合も多い。テントは張る場所によって、ひと晩快適に過ごせるかどうかを分けるものだ。よい場所を選びたい。



### 9 ガイラインを張る

ポールが通るスリーブと連結したガイライン4本をフライシートの穴から取り出し、ペグダウン。テントの風に対する強度が格段にアップする。



フライシートと本体が触れ合っていると通気がなくなり結露し、濡れの原因になる。フライシートは4面しっかり張るのが大原則だ。

その2

## フック式



ビッグアグネス  
フライクリークUL2の場合



### 1 本体を広げる

平らで、安全なキャンプ適地を見つけたらフロアの短い辺を両手で持って、本体を広げる。風が強い日は、フロア四隅すべてペグダウンしよう。



### 2 ポールをハトメに差し

Y字型にすべて一体となったポールを伸ばし、3つの先端をフロアの連結パーツに差し込んで固定する。こうしてポールだけが立ち上がる。



### 3 本体をポールに吊り下げる

本体につけられたフックをひとつひとつポールに引っかける。これで本体の立ち上げが完了。フライシートをピシッとかぶせて、ガイラインを張る。



### 4 ポールを立ち上げる

ポールをぐいっとしならせてフロア隅についたハトメに、ポールの先端を差し込む。こうして立ち上げると一気に風を受ける。風下に立って行おう。



テントが密集してポールを伸ばすスペースがないときは、折たたんだまま、一カ所一カ所連結しながらポールを差し込む方法もある。



### 5 フライシートをかける

テントの屋根となるフライシートの裏表を確認し、出入口に合わせてかぶせる。つねに風上側に立ち、風上からかぶせ、風上から本体に連結していく。



### 6 バックルをとめる

本体のフロア(メス)とフライシート(オス)についたバックルをカチッと2カ所とめる。張りの調整はあとでやるので、ストラップは緩めておく。



### 7 本体とフライシートを合体

もう一方のフロア二隅はフライシートについたリングをポールの先に引っかける。6のバックルのストラップを締め、張りをだす。



### 8 場所を決め、ペグダウン

天井部を持ち上げ、快適に寝られる場所を探る。斜面や凸凹が気になる人は実際に寝てみる。フロア四辺が、ピシッと張るようにペグダウンする。

# テントの立て方

テントの組み立て方をいちから丁寧に紹介。小技も教えちゃいます。

その1

## スリーブ式



アライテント  
エアライズ1の場合



### 1 バサッとフロアを広げる

フロアの短い辺を持って本体を広げる。テントを張るのに、ガイラインも含めて十分なスペースが確保できるかを確認しよう。



本体やポールを取り出したあとの収納袋は、風に飛ばされぬように、すかさずパンツのポケットにしまうクセをつけよう。



### 2 ポールを組み立てる

ゴム紐で連結されたポールを2本組み立てる。風が強いところでは、広げた本体が風に飛ばされる恐れがあるので1と2の行程を逆にするこも。



### 3 スリーブにポールを通す

2カ所のスリーブの入口から袋とじになっている隅へ向けて2本のポールを差し込む。スリーブの先までしっかりポールが入っているか確認する。



風が強い日は、スリーブが袋とじになった2カ所のフロア隅をペグダウン。そうすれば本体が風に煽られない。